

神川中学校の先生のおすすめの1冊

①『24人のビリー・ミリガン 上・下』 ダニエル・キイス 著

逮捕時に全く記憶がなかったというビリー。その身体には、性格や思考パターンは勿論、話し方、表情、姿勢、拳句の果てには性別までもが異なる24人の人格が同居。上巻は、弁護士や精神科医が、彼が多重人格者（解離性同一性障害者）であることを追究していく、その過程で多重人格がどのようなものであるかということが明らかになっていく。下巻ではビリーの視点でビリーが描かれる。人の心が如何に複雑かつ繊細で脆く、壊れやすいものかと驚かされる。

○みんなへのメッセージ

一人の心の中にたくさんの人たちが出てきます。一人ひとり性格が違うので名前が出てきたたびに確認しながら読みました。たくさんの方の経験、体験そして考え方を読み取ることができます。様々な人を受け入れる大きな器を持った人に成長してほしいです。ぜひ読んでみてください。ちなみに、ノンフィクションです。

②『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレイディみかこ 著

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」だった。ただでさえ思春期ってやつなのに、毎日が事件の連続だ。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり……。何が正しいのか。正しければ何でもいいのか。生きていくうえで本当に大切なことは何か。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とパンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていく。

○みんなへのメッセージ

自分の感性で、本当に大切なことについて考えてほしい！その機会となる一冊です！

③『向日葵の咲かない夏』 道尾秀介 著

小学4年生のミチオの前にS君があるものに姿を変えて現れ、『僕は殺されたんだ』と訴える。ミチオは妹のミカと共に、S君を殺した犯人をさがすこととなる。

○みんなへのメッセージ

とてもハラハラドキドキするミステリー小説です。是非読んでみてください。

④『そなえ ~35歳までに学んでおくべきこと~』 野村克也 著

野村克也氏が野球から学んだことを中心に、“社会の中でどのように生きていくか”を教えてくれる人生の教科書のような一冊。

○みんなへのメッセージ

自分はなぜ生まれてきたのか。そしてどのように社会の中で生きていくのか。世界中がコロナと戦う今だからこそ、そんなことを考える時間を作り、自分自身をしっかりと見つめるための1つの材料にしてほしい本です。

⑤『心を整える』 長谷部誠 著

プロのサッカー選手 長谷部誠がどのようなことを意識して行動しているのかを感じることができる1冊です。

○みんなへのメッセージ

他人の考えに触れる、また自分の考えを深める良い機会になるかもしれません。ぜひ読んでみてください。

⑥『夢をかなえるゾウ』 水野敬也 著【この本は2人の先生のおすすめです】

主人公はどこにでもいる普通のサラリーマン。彼はこれまでも自分を変えようとしていたが、三田坊主の性格のせいで、失敗ばかり。そんな彼の前に現れたインドの神様の置物ガネーシャ。主人公はガネーシャに振り回されながらも、夢を成すためにガネーシャの課題を1つずつクリアしていきます。そんな彼に少し変化が…。

○みんなへのメッセージ(1)

よりステキな自分になりたいと思うのはみんな同じ。でもその一歩を踏み出す勇気がなかなか出ないですよね。その一歩が実は身近なところにあることをガネーシャが教えてくれます。中学生のみなさんでもできる一歩がたくさんあるので、ぜひこの本を読んで、踏み出してみてください。

○みんなへのメッセージ(2)

日頃生活している中で、見過ごしているちょっとした事を的確についてくる内容に引き込まれます。また登場するおっさんゾウの神様が関西弁なところもユニークでおもしろいです。この休校中にぜひ、読んでみてください♪

⑦『プラス思考の習慣で道は開ける』 阿奈靖雄 著

自然と明るいモノの考え方ができるようになる内容です。

○みんなへのメッセージ

休校をできるだけ前向きにとらえて生活を充実させましょう。

⑧『あきらめない限り、夢は続く(難病の投手 柴田章吾、プロ野球へ)』 田尻賢誉 著

「慢性的に全身に炎症が起こり、回復と再発を繰り返し、未だに原因が究明されていない生命にもかかわるベーチェット病。その病が中3の柴田章吾を突然襲った。柴田は小6の時に投手として全国制覇を果たしたこともあり、全国に知られた剛腕投手だった。その将来を囑望されていた柴田の夢は甲子園に出ることだった。しかし、発病とともに医者から宣告されたことは、野球を断念することだった。柴田にとってその現実を受け入れることは余りにも残酷なものであった。しかし、彼は様々な人に支えられ、紆余曲折がありながらも夢を諦めず、愛工大名電に進学して甲子園出場を果たすことができた。さらにその後は東京六大学の明治大学へ進学し、2011年のドラフトを経て読売ジャイアンツの育成選手としてプロ野球選手となった。

○みんなへのメッセージ

『夢は逃げない 逃げるのは自分』:『夢なんて叶えられない。という人がいるけど、それは自分が逃げているだけで夢は動いていない。自分からやめたから辿り着けない。もちろん絶対にそこに行ける訳ではないけれど、夢は自分で掴みにいかないと掴めない。そのためには絶対に逃げちゃダメなんだ。やればできる。必ずできる。絶対できる。想い続けるかぎり、諦めなければ夢はきっと叶う。(柴田章吾)』

⑨『内向型人間だからうまくいく』 カミノユウキ 著

外向型人間が良しとされ、「もっと積極的に」「ハキハキと!」と、多数派を目指して頑張ることを強いられてきたこれまでの社会。しかし今、社会は変わりつつある。家にいないといけない今、少数派の内向型人間が成功するカギは?

○みんなへのメッセージ

外向型と内向型。どちらが良いとかいう話ではなく、みんながそれぞれの特性を理解し、強みを生かしていける社会が理想ですね。ちなみに私は内向型です。

⑩『だから、あなたも生きぬいて』 大平光代 著

中学校でいじめに耐えかね、割腹自殺未遂を起こしてしまう。生き延びて、再度世間や学校でのさらに厳しいいじめにあう。そして、不登校や不良グループとの付き合いなど、想像できないほどの多様な経験した主人公の人生が舞台の実話のストーリー。

○みんなへのメッセージ

中学生の間に読んでおいてほしい一冊です。毎日がうまくいかなくて、もがいて、苦しんで…。そんな筆者の思いに共感できることも多いでしょう。いろんなことがある中学校生活だけれど、最後は前を向いて「がんばろう」とみんなの背中を押してくれるはずです。

⑪『自分で心を手当てする方法』 ガイ・ウィンチ著 高橋璃子訳

タイトルの通り、どんなトラブルが起こっても、きちんと心を手当てできるような正しい知識を得ることが不可欠ということ。

○みんなへのメッセージ

ちょうど今、ころろがしんどい人は（少し難しいところも書かれていますが、）ぜひ読んでほしい本です。もちろん、ころろが健康な人にもよんでほしいです。